

小樽市経済動向調査結果

1. 調査期間：2026年7月から9月
2. 調査対象：小樽市内の企業252社
3. 内 訳：製造業54、卸売業24、小売業40、運輸・倉庫業20、観光業44
サービス業39、建設業31
4. 回答企業数：124社（49.2%）
5. 調査方法：調査票によるアンケート

※DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは・・・

好転（増加）企業割合から悪化（減少）企業割合を差し引いた値のことで、この数値がプラスかマイナスか、そしてその大きさによって景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

概 況

一 売上DIは2期連続のプラス水準であったが、業況DIは2期連続、採算DIは6期連続のマイナス水準に—
前年同期（2025年7月～9月）と比べた今期（2026年7月～9月）の状況
今期と比べた来期（2026年10月～12月）の予想

全業種における企業の景況感を示す業況判断DIは▲3.0で、前年同期比で4.6ポイント上昇しました。主要3項目のうち、売上DIは2期連続のプラス水準となりましたが、業況DIは2期連続、採算DIは6期連続のマイナス水準となりました。来期の業況DIは10.2ポイント低下しマイナス水準、売上DIはプラス水準、採算DIはマイナス水準になると予想されています。

製造業では、売上DIが前年同期比26.9ポイント上昇の26.9、採算DIは同29.1ポイント上昇の7.7、業況DIは同10.7ポイント上昇の0となり、採算DIはプラスに転じました。また、製造業の回答数28社のすべてが原材料仕入単価が上昇したと回答しました。

卸売業では、売上DIが同28.7ポイント上昇の21.5、採算DIは同14.4ポイント上昇の▲7.1、業況DIは同14.4ポイント上昇の▲7.1となり、売上DIはプラスに転じました。

小売業では、売上DIが同13.1ポイント上昇の▲18.2、採算DIは同22.7ポイント上昇の▲27.3、業況DIは同2.3ポイント低下の▲27.3となりました。

運輸・倉庫業では、売上DIが同20.8ポイント低下の12.5、採算DIは同26.4ポイント低下の▲7.7、業況DIは同20.2ポイント低下の▲7.7となり、業況DIと採算DIはマイナスに転じました。

観光業では、売上DIが同23.3ポイント上昇の40.0、採算DIは同9.0ポイント上昇の▲16.0、業況DIは同16.3ポイント上昇の8.0となり、業況DIはプラスに転じました。

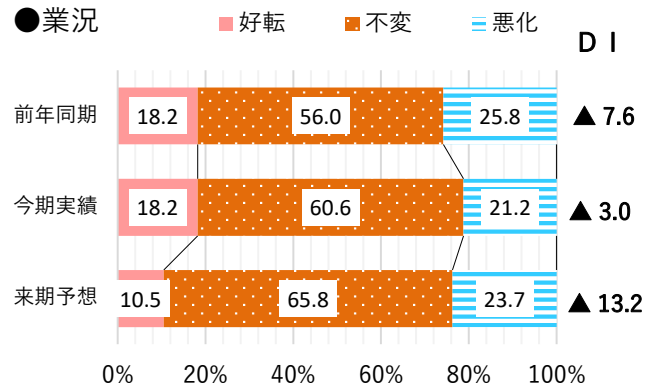
サービス業では、売上DIは同2.5ポイント上昇の37.5、採算DIは同27.5ポイント低下の▲12.5、業況DIは同3.8ポイント上昇の18.8となり、採算DIはマイナスに転じました。

建設業では、売上DIが同53.6ポイント上昇の23.6、採算DIは同19.2ポイント上昇の▲5.8、業況DIは同9.2ポイント上昇の▲5.8となり、売上DIは50ポイント以上の大幅な上昇でプラスに転じました。

業況、売上、採算

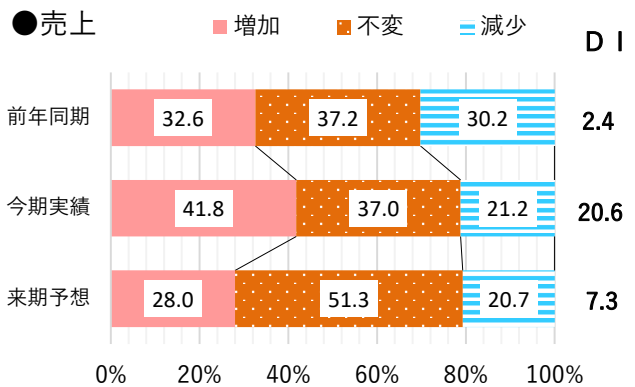
今期（2026.7～9）の業況DIは▲3.0で、前年同期（2025.7～9）と比べ4.6ポイント上昇しました。

来期（2026.10～12）の業況DIは▲13.2で、今期（2026.7～9）と比べ10.2ポイント低下すると予想しています。



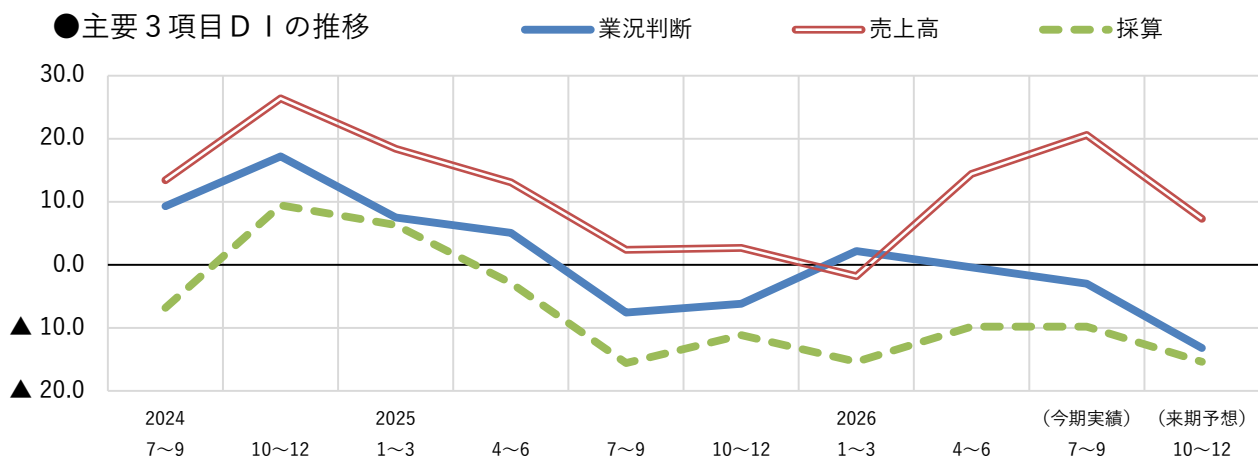
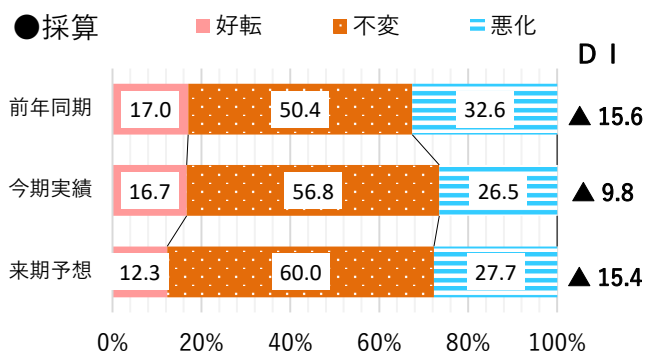
今期の売上DIは20.6で、前年同期と比べ18.2ポイント上昇しました。

来期の売上DIは7.3で、今期と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



今期の採算DIは▲9.8で、前年同期と比べ5.8ポイント上昇しました。

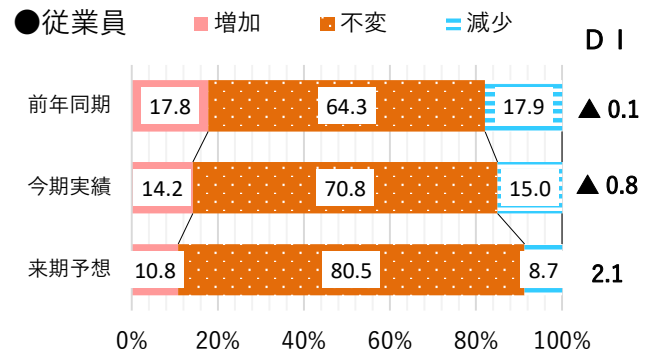
来期の採算DIは▲15.4で、今期と比べ5.6ポイント低下すると予想しています。



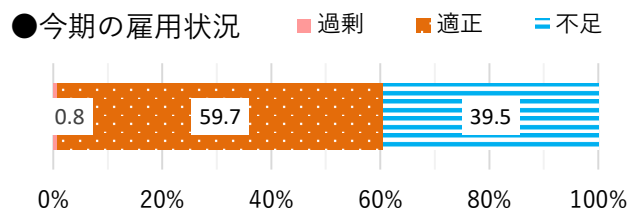
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲0.8で、前年同期と比べ0.7ポイント低下しました。

来期の従業員DIは2.1で、今期と比べ2.9ポイント上昇すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業は0.8%、適正であると回答した企業の割合は59.7%、不足していると回答した企業の割合は39.5%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは、「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、47.6%を占めました。

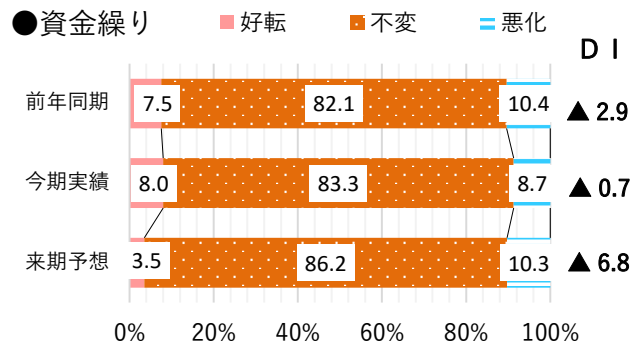
今期従業員数	今期の雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	7.3%
	不足	8.1%
不変だった	過剰	0.8%
	適正	47.6%
	不足	20.2%
減少した	過剰	0%
	適正	4.8%
	不足	11.3%

※回答総数124社

資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは▲0.7で、前年同期と比べ2.2ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは▲6.8で、今期と比べ6.1ポイント低下すると予想しています。



今期の設備投資は45.2%が実施と回答し、前年同期と比べ3.4%低下しました。投資内容は、1位が「車両・輸送機材」、2位が「付帯施設」でした。

来期は42.7%が設備投資を計画していると回答しています。

